事業所名　GKM9　グローバルキッズパーク桜通り店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | サイバーホイールや大型トランポリンなどの大型遊具、ラダー、バランスボール、マットなどの遊具など積極的に身体を動かすことが出来るような道具を準備し、プログラムを提供している。<br>また、講師を招いたリトミックや学研文字数ランドを活用した学習支援などへも力を入れている。 | | | |

事業所名　GKM11　グローバルキッズパーク小山駅東店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 集団での活動だけではなく、個別療育の充実に力を入れている。<br>年長児へは就学準備に向けた活動の提供を行っている。 | | | |

事業所名　GKM13　グローバルキッズパーク真岡東店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台で積極的に身体を動かし、年齢の低いお子さんの身体作りを行うことが出来るように工夫している。<br>また集団での活動だけではなく、個別療育を行うことによって、一人ひとりの成長を促すことが出来るようにしている。 | | | |

事業所名　GKM17　グローバルキッズパーク新中戸祭店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| 本人支援 | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| 本人支援 | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| 本人支援 | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| 本人支援 | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | |
| 事業所の特性 | | 感覚統合の遊具を取り入れ、様々な感覚を活用した運動を取り入れることにより、身体の使い方を学ぶことや学習のための基礎を培うことを促していく。また、日常生活に必要な生活習慣を身につけることができるように、スタッフが１対１で関わることによって丁寧に支援を行う。 | | |

事業所名　GKM18　グローバルキッズパーク今泉新町店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 学研の教材を活用した児童の特性に応じた学習支援だけではなく、鏡のある運動フロアにおいて身体作りを行うことが出来るようレクリエーションを組み立てている。<br>また、個別療育も行う中で、就園や就学に向けた支援にもつなげている。 | | | |

事業所名　GKM19　グローバルキッズパーク新間々田店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　00　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| 本人支援 | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| 本人支援 | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| 本人支援 | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| 本人支援 | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | |
| 事業所の特性 | | 広いフロアでの活動を通して、子どもの身体の育みを行っていく。また日常生活面へも支援を行うことによって身辺自立を図ることができるように促しを行っていく。<br>集団療育を通してお友達とのコミュニケーションを育むだけではなく、個別療育へも参加できるような機会を作り１対１で机上課題を行う中で子どもの力を育むことが出来るように支援をしている。 | | |

事業所名　GKM21　グローバルキッズパーク新宮の内店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　00　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 外部講師を招いてリトミックを行う。<br>また、集団療育でお友達とのコミュニケーションを育むだけではなく、個別療育へも参加できるような機会を作り１対１で机上課題を行う中で子どもの力を育むことが出来るように支援をしている。 | | | |

事業所名　GKM27　グローバルキッズパークゆいの杜店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台や感覚統合の大型遊具を用いて身体を動かす中で、子どもの発達の基礎を培いながら机上課題や集団活動の参加につなげていく。<br>また、個別療育の中で一人ひとりの特性を理解し、不得意なことに対しては苦手意識を持つことがないように取り組みの仕方を工夫していく。 | | | |

事業所名　GKM28　グローバルキッズパーク下栗店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台で積極的に身体を動かし、年齢の低いお子さんの身体作りを行うことが出来るように工夫している。<br>また集団での活動だけではなく、個別療育を行うことによって、一人ひとりの成長を促すことが出来るようにしている。 | | | |

事業所名　GKM32　グローバルキッズパーク下高間木店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | ホーススイングやプラットフォームスイングなど感覚統合やビックブロックなどの大型遊具を用いて、身体作りを行うことが出来るように手助けする。　学研<br>もじかずランドを活用することで、学習のきっかけを作ったり、アートポンを用いて創造性を育んだりすることが出来るよう支援を行う。 | | | |

事業所名　GKM34　グローバルキッズパーク西茂呂店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし | |
| | 支　援　内　容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする | |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う | |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | | |
| 事業所の特性 | パソコンを使ったすらら学習やマインクラフトを通して、パソコンの使いかたを学んだり学習への取り組みの習慣をつけたりすることへの支援を行う。<br>巧技台やボールプールなどを用いて粗大運動を行うことによって、学ぶことの基礎を作ったり他者との関わり方の練習をしたりする。 | | | | |

事業所名　GKM35　グローバルキッズパーク新さくら店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台を使った活動を行う中で、粗大運動や微細運動につながる身体の動かし方を練習する。<br>また、学研もじかずランドを活用した学習等を取り入れ、就学に向けた支援にもつなげている。 | | | |

事業所名　GKM37　グローバルキッズパーク鶴田店プラス

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 一面が鏡のフロアとなっており、ダンスなどの身体を動かす活動の際に楽しみながら活動できるように工夫している。<br>個別療育、集団療育、小集団療育など、様々な人数で行う事のできる活動を通して、子どもの成長に合わせた活動への参加を支援している。 | | | |

事業所名　GKM38　グローバルキッズパーク中今泉店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台や感覚統合の遊具を活用して、粗大運動を積極的に行うことが出来るように支援している。<br>また身体つくりだけではなく、個別での支援も行うことによって一人ひとりの力を引き出すことが出来るように働きかけている。 | | | |

事業所名　GKM40　グローバルキッズパーク東城南店プラス

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | プラットホームスイングなどの感覚統合の遊具を活用して、粗大運動を行う中で身体作りや集中することへの支援を行っている。<br>また、学研もじかずランドや個別療育を行うことによって、子ども一人ひとりの得意なことを伸ばすことへも力を注いでいる。 | | | |

事業所名　GKM46　グローバルキッズパーク築瀬店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 店舗内で熱帯魚を飼育することで、生き物と触れ合うことの面白さを感じることが出来るよう支援を行っている。<br>また、パソコンを用いた動画制作などで、編集する力などパソコンを応用する技術を育むことが出来るように支援している。 | | | |

事業所名　GKM49　グローバルキッズパーク加須店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台を用いて身体の使いかたの基礎を育んだり、リトミックを行うことでリズムに合わせた運動を行うことが出来るよう支援を行っている。<br>また個別療育などの時間も持つことで、一人ひとりの成長に合わせた支援につなげることが出来るようにしている。 | | | |

事業所名　GKM51　グローバルキッズパークひたち野うしく店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台やボールプール、木製大型遊具などを活用しながら、子どもの身体つくりへの支援を行っている。<br>また、アートポンを活用することで、活動のメリハリをつけたり創造性を育んだりすることが出来るように工夫している。 | | | |

事業所名　GKM52　グローバルキッズパーク幸手店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台やボールプールなどで身体を動かす事のできるようなプログラムを活用している。<br>さらに、学研もじかずランドを用いた学習に向けた支援や、アートポンを使った子どもの想像力を育むことへも支援できるよう工夫している。 | | | |

事業所名　GKM53　グローバルキッズパーク鶴田店ファン

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 営業時間 | 平日<br>休日 | 10<br>10 | 時 | 00<br>00 | 分から | 16<br>16 | 時 | 30<br>30 | 分まで | 送迎実施の有無 | (あり)　なし |

| | | |
|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす |
| 支援方針 | | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む |
| | | 支　援　内　容 |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する |
| 家族支援 | | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける |
| 移行支援 | | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する |
| 職員の質の向上 | | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など |
| 事業所の特性 | | 室内設置型の大型遊具を備え、積極的に身体を動かすことが出来るような支援を行っている。<br>また、レクリエーションにはエアスポットを使った活動を取り入れたり、外遊びを積極的に行って体力作りを行ったりすることが出来るよう配慮している。 |

事業所名　GKM55　グローバルキッズパーク加須店プラス

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | マット運動やサーキット運動などを行うことによって、身体を動かすことの基礎を育むことが出来るように支援を行っている。<br>また、手指の巧緻性や操作性を育む事のできる活動、ごっこ遊び等を通した他者とのコミュニケーションを培う事のできる活動など積極的に行っている。 | | | |

事業所名　GKM57　グローバルキッズパーク喜沢店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台やトランポリンなどの身体を動かす事のできる遊具を使って、成長に必要な身体作りを行うことが出来るように支援を行っている。<br>また、アートポンを用いた想像力の育み、個別療育を通した一人ひとりの得意な所を伸ばす取り組みなど、様々な支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM58　グローバルキッズパーク城東店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| 本人支援 | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| 本人支援 | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| 本人支援 | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| 本人支援 | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台など身体を動かす事のできる大型遊具を使って、成長を促すために必要な身体作りを行ったり、学習を行うための基礎を作ったりしている。<br>また、１対１での個別療育を通した一人ひとりの得意な所を伸ばす取り組みを行うことや、集団で行うレクリエーションを通してコミュニケーションを育むことなど、様々な活動を通して支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM60　グローバルキッズパーク鴻巣店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| 本人支援 | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| 本人支援 | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| 本人支援 | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| 本人支援 | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | |
| 事業所の特性 | | 身体を動かすことができるよう巧技台などの大型遊具を使って学習の基礎を育んだり、様々な感覚を用いた運動を積極的に行うことで身体の使い方を学ぶことができるように工夫を行っている。さらに、個別療育の中で、他者との１対１のやり取りを通して相手の話を聞くこと、聞いた事を活動に繋げることなどへも支援を行っている。また、集団で行うレクリエーションを通してコミュニケーションを育むことなど、様々な活動を活用している。 | | |

事業所名　GKM61　グローバルキッズパークつくば店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 広いフロアを活かして身体を動かす事のできる活動を工夫している。身体を動かす活動を行う中で身体の使い方を促したり、学ぶ力を育んだりなどへも支援を行う。<br>さらに、個別療育や集団療育など様々な活動の中で、身の周りの事を自分で行うことができるような促しを行ったり、他者とのコミュニケーションを育むことなどへも支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM63　グローバルキッズパーク竹林店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 芝生のフロアを設け、裸足で運動することで身体の基礎を作り上げることが出来るような支援を行っている。<br>また、パソコンを用いたすらら学習を行うことで、学びの力を伸ばすことが出来るよう取り組みを行っている。 | | | |

事業所名　GKM64　グローバルキッズパーク柏の葉店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし | |
| | 支　援　内　容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入室時の靴や荷物の整理、トイレットトレーニングによる排泄の自立など徐々に手がかりを減らしながら自分で行うことができるように支援を行っていく） | | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（フロアでバランスボールや巧技台を用いた運動や感覚刺激も取り入れて、微細運動へもつなげることができるような身体作りを行っていく） | | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（アートポンを使った活動を通して、楽しみながら物事の理解を促し、さらにそこから自分で行動を選択できるよう支援を行う） | | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（絵カードを使って理解を促しながら、ことばを使って伝えることができる楽しみを経験できるように支援を行う） | | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（先ずはスタッフとの関わりを作り上げていきながら、徐々に他児童との関わりを持つことができるよう支援を行っていく） | | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする | |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う | |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台を行う事のできるレクリエーションを取り入れ、身体を動かす活動を用いた身体つくりへの支援も積極的に取り入れている。<br>アートポンを行うことで、子どもが想像力を育むことが出来るよう支援している。 | | | | |

事業所名　GKM65　グローバルキッズパーク阿見店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | ホーススイングなどの感覚統合の遊具を用いて、前庭感覚や固有受容感覚へ働き掛けることが出来るような支援を行っている。<br>さらに、アートポンを取り入れる中で、子どもの創造する力を育むことが出来るようにしている。 | | | |

事業所名　GKM66　グローバルキッズパーク上大久保店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 身体を動かす活動を行うことが出来るよう、巧技台を活動したレクリエーションを取り入れている。<br>また、アートポンも用いることによって、楽しみの中で活動に参加することや想像する力を育むことが出来るように支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM67　グローバルキッズパーク古河店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台やボールプールを使った運動プログラムを活用することで、子どもの身体つくりへの支援を行っている。また、集団療育だけではなく個別療育も行うことが出来るように取り組んでおり、子どもの得意な所を伸ばすことが出来るよう支援している。 | | | |

事業所名　GKM68　グローバルキッズパーク伊勢崎店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 広いフロアで巧技台を用いた運動を行うことで、身体の動かし方を学ぶことが出来るように支援を行っている。<br>また、学研もじかずランドを行うことで机上課題へも取り組むことが出来るような支援や、アートポンを用いた活動を通して想像力を育むことが出来るような取り組みを行っている。 | | | |

事業所名　GKM69　グローバルキッズパーク川越店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 身体つくりが出来るよう、巧技台を使った活動をレクリエーションの中で取り入れている。<br>また、子どもの想像力を育むことが出来るよう、アートポンを使った活動を楽しみの中で行っている。 | | | |

事業所名　GKM70　グローバルキッズパーク前橋東店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 広いフロア内で様々な運動プログラムを展開したり、巧技台を用いた活動を行ったりしている。<br>また、ボールプールやトランポリンなどを行う中で、前庭感覚や固有受容感覚に働きかける事のできる支援も取り入れている。 | | | |

事業所名　GKM71　グローバルキッズパーク南浦和店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 運動プログラムでは巧技台を用いた活動を通して、身体作りを行うことが出来るように支援を行っている。<br>また、学研もじかずランドを取り入れる中で学ぶことへの基礎作りや、アートポンを使った活動を通して想像力を育むことへも力を入れている。 | | | |

事業所名　GKM73　グローバルキッズパーク本庄店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 広いフロアで積極的に身体を動かすことが出来るようなプログラムを展開したり、巧技台を用いた活動を取り入れることで身体の使いかたを練習したりできるよう支援している。<br>また、前庭感覚や固有受容感覚などの感覚へもアプローチできるようなボールプールの使いかたを工夫している。 | | | |

事業所名　GKM75　グローバルキッズパーク柏店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（一人ひとりのお子さんの成長に合わせて、身辺自立を図ることができるように支援を行っていくことによって、少しずつ就学にも繋げることができるように支援を行う） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（広いフロアを活かして、巧技台などの大型遊具を用いた活動を通して、身体を動かす機会をつくる。さらに運動による感覚刺激を通して、身体のボディイメージを育むことができるよう支援を行う） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（日頃の活動を通して、分かることを増やしていきながら、それによって自分で考えることや決めることができることができるように支援を行っていく） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（まずは、理解できることばを増やすことができるよう絵カードや写真を活用した関わりを行う。さらにスタッフとのやり取りを通して、理解言語を通して発語を促していく） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（１対１の個別療育で安心した管改正を育んで行きながら、集団療育に繋がて行くことによって人との関わりの仕方を学ぶことができるよう支援を行っていく） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 身体を動かす運動と座って行う机上課題のバランスを取ることが出来るようなレクリエーションを展開している。<br>また、音楽を使って身体を動かしたり、巧技台を活用して身体の使いかたを学ぶことが出来るような活動を取り入れたりすることで、運動への苦手意識を軽減できるようにしている。 | | | |

事業所名　GKM76　グローバルキッズパーク西城南店プラス

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | パソコンを用いたすらら学習を通して学習への補助を行ったり、マインクラフトを楽しみながら行うことでプログラミングの基礎を学んだりできるよう支援している。<br>学研もじかずランドを行うことで学ぶための土台を作ること、巧技台を行って楽しく身体を動かすことなど、様々な活動を通した支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM77　グローバルキッズパーク新伊勢崎店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台、フープなど道具を用いた運動などを楽しみながら行うことで、身体の動かし方を学ぶことが出来るような支援を行っている。<br>また、机上課題を行う活動も取り入れることで、着席を意識できるような関わりを行ったり、手指の巧緻性を向上させることが出来るような支援を行ったりしている。 | | | |

事業所名　GKM78　グローバルキッズパーク土浦店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 子どもたちが楽しく遊ぶことが出来るようキッズスペースを設置し、日頃から遊びを通して成長を促すことが出来るよう支援を行っている。<br>また、巧技台を活用しながら身体の使いかたを練習したり、学研もじかずランドを用いることで学ぶための基礎を育んだりしている。 | | | |

事業所名　GKM79　グローバルキッズパーク東大宮店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台を使うレクリエーションを取り入れ、身体の動かし方の練習を行うことが出来るように支援を行っている。<br>また、学研もじかずランドを行うことで、着席への意識付けを行ったり、学ぶことへの意識を育むことが出来るよう支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM80　グローバルキッズパーク学園の森店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 集中力を育むための基礎として、巧技台を用いた運動課題を行うことが出来るよう支援を行っている。<br>また、デジリハやアートポンなどタブレットを活用した活動を用いることで、子どもの創造する力を育むこと、楽しみの中で活動に参加することを支援している。 | | | |

事業所名　GKM81　グローバルキッズパーク筑西店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | サーキットトレーニングなども積極的に取り入れることで、子どもの身体つくりや運動を通した集中力の育みへの支援を行っている。<br>また、学研もじかずランドを用いて学ぶことへの基礎を育んだり、子どもの興味を刺激するような机上課題を用いて楽しみの中で学ぶことが出来るよう支援している。 | | | |

事業所名　GKM83　グローバルキッズパーク西川田店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台を用いて身体を動かす練習をしたり、感覚統合の遊具であるプラットホームスイングを活用して前庭感覚などの感覚を調整することが出来るような支援を行っている。<br>運動を行う活動を比較的多く取り入れることによって、楽しみながら活動できるよう配慮している。 | | | |

事業所名　GKM84　グローバルキッズパーク麗澤大学前店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし | |
| | 支　援　内　容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入室時の自分の荷物のお片付けなどを通して自分の身の周りの事を自分で行うことができるような習慣づけをおこなったり、トイレットトレーニングなどで排泄の自立を促していく） | | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（フロアで巧技台などの遊具を用いて積極的に身体を動かすことによって、身体の動かし方を学ぶとともに、微細運動を行うことができるような基礎を作っていく） | | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（一人ひとりの理解の仕方に合わせて情報を伝える工夫を行ったり、選択する機会を用いることで自分で考えることができる様に促しを行っていく） | | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（分かることばを増やすことができるように写真や絵カードを活用する。また、スタッフとの関わりを通して、対子ども同士での関わりも行うことができるよう支援をする） | | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（活動の際のルールを伝えること、それを理解しながら行動することを練習しながら、社会の中での約束事などを理解できるよう促していく） | | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする | |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う | |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | | |
| 事業所の特性 | 身体の動かし方の基本を練習できるよう巧技台を取り入れ、楽しみの中で身体の動かし方の支援を行っている。<br>また、机上課題への取り組みにおいては学研もじかずランドを行っており、苦手意識にならないような学び方を支援している。 | | | | |

事業所名　GKM85　グローバルキッズパーク小針店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 子どもの身体の動かし方の練習をしたり、集中力を育んだりするために巧技台を取り入れている。<br>また、タブレットを用いてアートポンを行うことで、物事への想像力を育むことへも支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM86　グローバルキッズパーク熊谷店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台やボールプールを活用しながら、楽しく身体を動かすことを支援している。<br>また、学研もじかずランドを取り入れる中で、机上課題への取り組みの支援や学ぶことへの意識付けについても支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM87　グローバルキッズパーク上尾店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 室内においては巧技台を用いた活動を通して、身体を動かすことが出来るように工夫している。<br>また、近くの公園へのお散歩や公園での活動など、室内活動にとどまらない活動へも積極的に参加できるよう支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM88　グローバルキッズパーク大間々店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 子どもの身体の動かし方を練習することが出来るように巧技台を活用している。<br>また、巧技台などの運動によって育む事のできる集中力を、学研もじかずランドなどの机上課題に活かすことが出来るように支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM89　グローバルキッズパーク深谷店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台やボールプールなどを活用して、子どもが楽しく身体を動かすことが出来るような支援を行っている。<br>また、着席して行う事のできる机上課題や、学習に繋げることが出来るような学研もじかずランドも取り入れている。 | | | |

事業所名　GKM91　グローバルキッズパーク袖ヶ浦店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする（スタッフと一緒に自分の身のまわりの事を自分自身で行うことができるように支援していくことで、自立を促すことができるようにする） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（広いフロアを活かしながら身体を使った運動を行っていく中で、運動と感覚を統合させ身体のイメージを作り上げ、粗大・微細運動を行うことができるよう支援する） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（学研のもじかずランドを活用したり、子どもの理解に合わせながら写真や絵カードを用いて、子どもの認知能力を高めながら、自分で自分のことを伝える練習を行っていく） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（一人ひとりの子どものことばの成長に合わせて、やり取りの仕方を工夫しながら、他者とことばを通してコミュニケーションを図ることができるように支援を行っていく） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（活動の際にスタッフとの関係を育んで行く中で、少しずつ他児との関係も培っていくことができるように促していく） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする | |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う | |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 子どもの身体を動かすことを手助けしたり、集中力を育むことが出来るように支援するための巧技台を取り入れた活動を行っている。<br>また、学研もじかずランドを行っていく中で、子どもの得意な所を見つけて伸ばすことが出来るように支援している。 | | | |

事業所名　GKM92　グローバルキッズパーク小鹿店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | サイバーホイールや巧技台などの大型遊具を用いて楽しく活動しながら、身体の動かし方を学ぶことが出来るように支援を行っている。<br>また、机上課題として学研もじかずランドを取り入れており、一人ひとりの子どもの学ぶ力を育むことが出来るようにしている。 | | | |

事業所名　GKM93　グローバルキッズパーク勿来店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台を活動して身体を動かす事のできる活動を取り入れたり、アートポンを用いて想像力を培うことが出来るような手助けを行っている。<br>学習への支援としてパソコンを用いたすらら学習を取り入れ、またマインクラフトやレゴプログラミングを活用してプログラミングへも興味を持つことが出来るように支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM95　グローバルキッズパーク新東大宮店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 大型室内遊具を設置し、子どもが楽しく遊ぶことが出来るように、また遊びを通して身体を動かすことやお友達と関わることが出来るように支援を行っている。<br>遊びの中で培った集中力を、学研もじかずランドを活動して学習へも活かすことが出来るように工夫している。 | | | |

事業所名　GKM96　グローバルキッズパーク七北田店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 運動の支援のために巧技台を取り入れ、身体の動かし方を練習したり、運動での集中力を育んだりしている。<br>タブレットを使ったアートポンでの想像力の育みや、学研もじかずランドを用いた学びの基礎への取り組みなど、様々な支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM97　グローバルキッズパーク高柳店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（スタッフと一緒に自分の身のまわりの事を自分自身で行うことができるように支援していくことで、自立を促すことができるようにする） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（広いフロアを活かしながら身体を使った運動を行っていく中で、運動と感覚を統合させ身体のイメージを作り上げ、粗大・微細運動を行うことができるよう支援する） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（学研のもじかずランドを活用したり、子どもの理解に合わせながら写真や絵カードを用いて、子どもの認知能力を高めながら、自分で自分のことを伝える練習を行っていく） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（一人ひとりの子どものことばの成長に合わせて、やり取りの仕方を工夫しながら、他者とことばを通してコミュニケーションを図ることができるように支援を行っていく） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（活動の際にスタッフとの関係を育んで行く中で、少しずつ他児との関係も培っていくことができるように促していく） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 運動を行う場面では巧技台を用いて楽しく身体を動かすことが出来るように、またボールプールを用いて感覚にもアプローチできるように工夫している。<br>学研もじかずランドを取り入れる中で、机上課題への取り組みの仕方を練習したり、学ぶことへの基礎の力を育んだりしている。 | | | |

事業所名　GKM99　グローバルキッズパーク大泉店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | パソコンを用いたすらら学習や、マインクラフトなどによって、パソコンの使いかたを練習しながら学習につなげられるような工夫を行っている。<br>身体の動かし方を練習するための巧技台の活用、学びの基礎を育むための学研もじかずランドへの取り組みなど、様々な活動を取り入れることで成長を促している。 | | | |

事業所名　GKM100　グローバルキッズパーク市川大野店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし | |
| | 支　援　内　容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入室時の荷物の整理、退出時に忘れ物がないよう確認すること等、スタッフの支援を少しづつ減らしながらできるようにしていく） | | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（巧技台などの大型遊具を用いて積極的に身体を動かしながら身体つくりを行う中で、身体のイメージを育み、微細運動へも取り組むことができるよう支援を行っていく） | | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（学研のもじかずランドを活用することで、物事の理解を培っていくだけではなく、自分で考えて決めることができるような促しも行っていく） | | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（写真や絵カードを活用した理解言語の促しの中で、少しずつ発語へとつなげたり、発語を他者とのやり取りに用いたり出来るように支援していく） | | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（一人ひとりの成長に合わせた課題設定を行ったり、課題実施の中で約束事をしたりなど他者とのやり取りの仕方を練習することができるようにする） | | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする | |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う | |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | | |
| 事業所の特性 | 子どもの身体の動かし方を練習したり、集中して物事の取り組みが出来るような支援につなげられるよう、巧技台などの遊具の使いかたを工夫している。<br>また、運動課題で培った集中力を机上課題にも行かすことが出来るよう、学研もじかずランドを活動することで楽しく学ぶことが出来るよう支援を行っている。 | | | | |

事業所名　GKM101　グローバルキッズパーク前橋大利根店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| 本人支援 | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| 本人支援 | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| 本人支援 | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| 本人支援 | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台を用いた運動レクリエーションを行う中で、子どもの身体の動かし方を練習したり、身体を動かす方法を楽しく身につけられるよう支援を行っている。<br>また、巧技台で育んだ粗大運動能力を活かして、机上課題で微細運動につなげたり、学研もじかずランドでの学習に繋げたりなどの工夫を行っている。 | | | |

事業所名　GKM102　グローバルキッズパークせんげん台店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台を用いた運動を行う中で、楽しく身体つくりを行うことや運動を行う中での集中力を育むことに対しての支援を行っている。<br>また身体を動かす活動だけではなく、学研もじかずランドを行う中で、子どもの学ぶことに対する意識付けを行うことが出来るよう支援している。 | | | |

事業所名　GKM103　グローバルキッズパーク上大久保店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台などの大型遊具を用いた活動の中で身体を使った運動を行う中で、楽しく身体つくりを行うことや運動を行う中での集中力を育むことに対しての支援を行っている。<br>また身体を動かす活動で培った他者とのやり取りを通してコミュニケーション能力への促しを行ったり、子どもの学ぶことに対する意識付けを行ったりすることが出来るよう支援している。 | | | |

事業所名　GKM104　グローバルキッズパーク与野店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 子どもの身体の使いかたを学ぶことや楽しく運動する中で集中する力を培っていくことなどを育むことが出来るように巧技台を取り入れている。<br>また、机上課題においては学研もじかずランドを取り入れており、学習することへの力を育むことが出来るように支援している。 | | | |

事業所名　GKM106　グローバルキッズいわきパーク平店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　00　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | パソコンでの取り組みとしてすらら学習を活用した学習支援やマインクラフトを用いた創造力への支援を行っている。<br>さらに、LEGOプログラミングを活用してプログラミングの基礎を学ぶことが出来るような活動を取り入れている。<br>身体の使いかたの学びにおいては巧技台を活用することや、学びの基礎を育むために学研もじかずランドを取り入れた支援も行っている。 | | | |

事業所名　GKM108　グローバルキッズパーク浦和中野店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　4　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 大型遊具やフロアでの運動を用いた活動の中で、楽しみながら身体の動かし方を学ぶことや運動を行う中での集中力を育むことに対しての支援を行っている。<br>またレクリエーションなどでの他者とのやり取りを通してコミュニケーション能力への促しを行ったり、子どもの学ぶことに対する意識付けを行ったりすることが出来るよう支援している。 | | | |

事業所名　GKM109　グローバルキッズパーク大田原店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | パソコンを活用してすらら学習やマインクラフトを行うことが出来るようにレクリエーションなどでも積極的に活動に取り入れている。<br>また、運動の支援を行うための巧技台を用いたり、学びの基礎を培うための学研もじかずランドの活用など、様々なプログラムを展開している。 | | | |

事業所名　GKM110　グローバルキッズパーク我孫子店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし | |
| | 支　援　内　容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入退室の際に自分で荷物を運ぶ、整理するなどや手洗いうがいなど自分で行うことができるようにするといった自分の身のまわりの事を自分で出来るように促していく） | | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（巧技台などの粗大運動を用いた活動を通して身体の動かし方を身につけたり、運動と感覚との統合によって身体のイメージを作ることができるような支援を行う） | | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（物事の理解に繋げられるような写真や絵カードの活用や、学研もじかずランドを用いた学習を通して認知機能面へも働きかけるような工夫を行う） | | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（一人ひとりのことばの発達に沿った支援を行うことができるように、子どもの評価を行うとともに、その発達に合わせたことばのやり取りについての工夫を行う） | | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（課題実施の中で、人とのやり取りの仕方を練習したり、ルールを身につける中で社会性に繋げることができるよう促しを行っていく） | | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする | |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う | |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台を用いて身体を動かすための基礎を築いたり、プレイスポットを活用してバランスを取るための身体の動かし方を学んだりすることへの支援も行っている。<br>また、着席して活動に取り組むことが出来るように、学研もじかずランドを取り入れた支援も行っている。 | | | | |

事業所名　GKM111　グローバルキッズパーク富士松岡店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　14　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし | |
| | 支　援　内　容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする | |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う | |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | | |
| 事業所の特性 | パソコンでのすらら学習やマインクラフトを活用した学習への取り組みや集中して活動することへの支援を行っている。<br>また、巧技台やプレイスポットを活用して身体を動かすための基礎を作ることへの支援や学研もじかずランドを取り入れた学ぶことへの取り掛かりへの支援も行っている。 | | | | |

事業所名　GKM112　グローバルキッズパーク佐野店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　2　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | チームラボの「こびとが住まう黒板」を取り入れ、子どもの創造性を育むことができるような取り組みを行っている。また、巧技台を用いて身体を使った全身運動から子どもの全般的な発達を育むことができるような活動を取り入れている。さらに、個別での関わりと集団を用いた関わりを一人ひとりの特性に合わせて行っていくことで、発達を促すことができるように支援をしている。 | | | |

事業所名　GKM114　グローバルキッズパーク栃木蔵の街店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　2　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 大型遊具を用いた活動の中で身体を使った運動を行う中で、楽しみながら身体の動かし方を学ぶことや運動を行う中での集中力を育むことに対しての支援を行っている。<br>またレクリエーションなどでの他者とのやり取りを通してコミュニケーション能力への促しを行ったり、子どもの学ぶことに対する意識付けを行ったりすることが出来るよう支援している。 | | | |

事業所名　GKM115　グローバルキッズパーク筑西店プラス

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし | |
| | 支　援　内　容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする | |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う | |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | | |
| 事業所の特性 | パソコンでのすらら学習やマインクラフトを通して、積極的に自ら学ぶことや考え方のプロセスを学ぶことを練習している。<br>また、身体を動かすことが出来るように巧技台を取り入れて身体つくりを行い、学習へもつなげられるような学研もじかずランドの取り組みを支援している。 | | | | |

事業所名　GKM117　グローバルキッズパーク八千代高津店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（身辺自立に繋げられるよう、自分の荷物の整理や手洗いうがい、排泄など子どもの成長に合わせて支援を行っていく） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（プレイスポットなどを活用することによって身体の動かし方を練習したり、運動と感覚とを結びつけることができるよう身体の使い方を支援したりする） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（一人ひとりの物事の理解に合わせた活動を個別療育を通して行い、さらに集団療育の中で一斉示指の理解の仕方に繋げられるような支援を行う） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（写真や絵カードを用いて、ことばの理解を促していく中で発語に結び付けていく。また他者とのやり取りにことばを使えるような促しも同時に行っていく） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（身体を使った運動や机上課題を通して、他者とのやり取りの力を育んで行くとともに、課題実施の際の物事のルールなどについても学ぶことができるよう支援を行う） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 身体の動かし方の基礎を学ぶことが出来るような巧技台の活用や、身体のバランスや感覚を育むことが出来るようなプレイスポット用いた活動の支援を行っている。<br>また、身体を動かす活動だけではなく、学研もじかずランドの用いて机上課題を行っていくことにより、学びを促すことが出来るような支援も取り入れている。 | | | |

事業所名　GKM118　グローバルキッズパークひたちなか店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　14　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし | |
| | 支　援　内　容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする | |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う | |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | | |
| 事業所の特性 | 学習支援としてすらら学習を取り入れており、プログラミングを学ぶことが出来るようにレゴプログラミングを行ったり、マインクラフトを活用したりしている。<br>また、身体の動かし方を練習するための活動として巧技台やプレイスポットを活用していたり、学ぶ力の基礎を培うために学研もじかずランドを行うための支援をしている。 | | | | |

事業所名　GKM119　グローバルキッズパーク新潟青山店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | | |
| 営業時間（児童発達支援） | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　14　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし | |
| | 支　援　内　容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促すことや、理解を促すことが出来る機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>・自分の認知の特性を理解することが出来るように自分自身の理解を促す | | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めたさまざまな活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけられるよう支援を行う | | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学、また中学や高校への進学、就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする | |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う | |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | | |
| 事業所の特性 | タブレットを用いたレゴプログラミングを通して、集中して物事へ取り組むことやプログラミングの基礎を学ぶことが出来るよう支援を行っている。<br>巧技台を用いる活動では、身体を動かすための基礎を練習したり、また学研もじかずランドを行う活動では、机上課題への取り組み方の支援を行ったりしている。 | | | | |

事業所名　GKM123　グローバルキッズパーク作新台店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入退室時の靴の脱ぎ履き、荷物の整理や忘れ物の確認、手洗いうがいや排泄などの身辺自立が身につけられるような支援を行う） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（巧技台などの大型遊具を用いた活動を通して運動面への支援を行うと同時に、運動を行うことで入力される感覚を活かしながら活動へ繋げられるような促しを行っていく） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（身の周りの物事の理解を促すための手段として写真や絵カードを用いるなどの工夫を行う。また理解したことによって行動に繋げられるよう、選択すること等も活用する） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（学研もじかずランドを活用した取組みを通して人とのやり取りやことばの促しを行っていく） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（事業所で行う活動の際、スタッフとのやり取りを通して人間関係を育むことやお友達同士で守るべきルールなどを学ぶことができるように支援する） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 子どもの身体を動かす活動を支援するために巧技台を取り入れ、粗大運動を行ったり、身体を動かす中での集中力を育むことが出来るようにしている。<br>また、身体を動かす活動だけではなく、学研もじかずランドを行うことで、着席課題への取り組みや、学ぶことへの基礎を練習することが出来るよう支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM127　グローバルキッズパーク園生町店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　10　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　00　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（自分の身のまわりの事が自分で出来るよう、少しずつスタッフが支援を減らすこととによる自立を促していく） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（運動面への働きかけと同時に感覚遊びなども活用することによって、自分の身体のイメージを作りながら身体を動かすことができるように支援を行っていく） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（一人ひとりの発達に合わせて、写真や絵カードを用いた理解の仕方を促していくとともに、選択する場面なども活用しながら自分で行動を決めることができるように支援を行う） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（ことばを用いるだけではなく、積極的に写真や絵カードも活用しながらことばの理解や発語を促していく。同時に人とのやり取りにことばを使うことができるよう促しを行う） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（個別療育での１対１のやり取りを通して人とのやり取りを練習しながら、集団療育においても関係性を育むことができるように支援を行っていく） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 粗大運動を行う運動プログラムの実施を取り入れることにより、身体の発達促しにとどまらず、認知面やコミュニケーション面へも支援を行うことが出来るように工夫している。<br>また、粗大運動で培った身体の動かし方を微細運動に活かしたり、身辺自立に結び付けることが出来るように支援する。 | | | |

事業所名　GKM128　グローバルキッズパーク沼津店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　10　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 子どもの身体作りを支援するため巧技台を取り入れ、粗大運動を行ったり、身体を動かす中での集中力やコミュニケーション能力を育むことが出来るようにしている。<br>また、身体を動かす活動だけではなく、将来に向けた身辺自立を図ること、また集団行動につなげることが出来るようにするための他者との関わりに関しても支援を行うことが出来るように工夫している。 | | | |

事業所名　GKM129　グローバルキッズパーク船橋夏見店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　9　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　00　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入室時の靴や荷物の整理、退出時の忘れ物の確認、手洗いやうがいなどを自分で行う、トイレでの排泄など身辺自立への支援を行う） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（巧技台などの大型遊具を使った運動を通して身体の使い方を学ぶことや、粗大な運動を通して微細な身体の使い方を練習できるように支援を行っていく） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（写真や絵カードも活用しながら一人ひとりの成長に合わせて物事の理解を促し、また、活動の中で選ぶことを通して自分で行動を決める練習を行う） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（個別療育の中で1対1のやり取りを通してことばの理解を促していきながら、対子どもともことばを介したやり取りが出来るように促していく） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（課題を行う中で決まり事などを覚えたり、人とのやり取りの仕方を学んだりすることができるように支援を行っていく） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台などを活用しながら粗大運動を行うこと、身体つくりが出来るような支援を行っている。また、運動のプログラムだけではなく、着席して机上で取り組む事のできるような活動を通して、微細運動機能の発達を促したり、他者とのコミュニケーションを図ることが出来るようなプログラムも取り入れている。 | | | |

事業所名　GKM130　グローバルキッズパーク甲斐店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　9　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　14　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| 本人支援 | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| 本人支援 | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| 本人支援 | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| 本人支援 | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | |
| 事業所の特性 | | 運動機能面の成長や発達を促すため巧技台を取りれ、身体作りを行うことが出来るように工夫している。また運動機能面の成長・発達だけではなく、認知機能面やコミュニケーション面へも働きかけることが出来るよう、個別療育や集団療育を活用し、子どもへの支援を行っている。 | | |

事業所名　GKM131　グローバルキッズパーク新潟空港通り店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　11　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　14　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 身体つくりやことばを育むために大切な運動を行うために巧技台を取り入れ、室内においても活発に身体を動かすことが出来るように支援を行っている。また、学研もじかずランドにも力を入れる事によって、文字や数を学んでいくための土台作りを行ったり、文字や数への興味関心を引き出すことが出来るように支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM132　グローバルキッズパーク南沼上店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　11　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台を取り入れることによって、室内においても身体を動かす機会を持つことが出来るように工夫している。また、巧技台で培った身体つくりをもとに、学研もじかずランドで学ぶことへの楽しみにつなげられるように工夫している。さらに、Kitsも導入することで、ICTを用いた楽しみながら学ぶことへつながるような支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM133　グローバルキッズパーク厚木及川店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　10　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| 本人支援 | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| 本人支援 | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| 本人支援 | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| 本人支援 | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | |
| 事業所の特性 | | 運動機能面の成長や発達を促すためフロアでの運動を取りれ、学習や身辺自立の基礎となる身体作りを行うことが出来るように工夫している。また運動機能面の成長・発達だけではなく、認知機能面やコミュニケーション面へも働きかけることが出来るよう、個別療育や集団療育を活用し、子どもへの支援を行っている。 | | |

事業所名　GKM134　グローバルキッズパーク北国分店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　1　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（身の周りのことを自分で行うことができるように、スタッフと一緒に、また徐々に支援を減らしながら練習していく） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（フロアでの粗大運動を行うなかで身体の動かし方を練習したり、運動によって入力される感覚を活かしながら身体のイメージを育むことができるように支援を行う） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（お子さん一人ひとりの理解の仕方を探りながら、それぞれに見合った伝え方を工夫することで周りの物事の理解を支援していく） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（写真や絵カードなども活用し、本人の分かることばを増やしていきながら、更に発語に繋げることができるような促しも行っていく） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（個別療育でのスタッフとの1対1のやり取りや集団療育での一斉指示を通して、人との関わり方などを学ぶ機会を積極的に活動の中で作る） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 子どもの発達全般を促すために、発達の基礎となる運動面への支援を行うことが出来るようなプログラムを取り入れている。また、身体作りを行いながら、認知機能面への発達を支援するとともに、他者とのやりとりの力を育むことが出来るようコミュニケーション面への育みを行っている。 | | | |

事業所名　GKM135　グローバルキッズパーク篠ノ井店

# 支援プログラム

作成日　R6　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 室内においても身体を動かすことが出来るように、巧技台や感覚統合遊具の一つであるスイングボードを取り入れ、身体つくりへの支援を行っている。また、学ぶことへの興味や関心を引き出すことが出来るように学研のもじかずランドを取り入れ、楽しみの中から数や文字を学ぶことが出来るように工夫している。さらに、Kitsを行うことでICTを用いた楽しく遊ぶ・経験することが出来るよう支援を行っている。 | | | |

事業所名　GKM137　グローバルキッズパーク新栃木店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　1　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 子どもの発達全体を促すための運動を積極的に取り入れ、運動によって培われた身体機能面の発達を踏まえて、認知機能面やコミュニケーション面へも働きかけていく。<br>運動を行う際には、巧技台など子どもが視覚的に確認しやすい遊具を取り入れることによって、楽しみながら身体を動かすことが出来るように配慮する。また、お子さまの認知機能面の発達に見合った机上課題を行うことによって、就学までの支援を実施する。 | | | |

事業所名　GKM138　グローバルキッズパーク松本水汲店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　9　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 子どもの学びの基礎となる運動を育むために巧技台を取り入れ、積極的に身体を動かす機会を持つことが出来るようにする。また、想像力を培うことやお友達と一緒に学ぶことを手助けするためKits（キッツ）を導入し、楽しく学ぶことが出来るよう支援を行う。キッツで培った学びの基礎をもじかずランドを行う中で、「文字」や「数」などの具体的な学習に繋げることが出来るように手助けする。 | | | |

事業所名　GKM139　グローバルキッズパーク岡本店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　2　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 子どもの全般的な発達や創造性を育むため、チームラボのスケッチピストン- playing musicを活用する。また、大型遊具も積極的に活用することによって、子どもの身体的な発達にとどまらず、運動を通して身体の動かし方を学んだり感覚を身につけることによって身辺自立に繋げることができるような促しを行う。 | | | |

事業所名　GKM140　グローバルキッズパーク上越店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　3　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　14　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 子どもの全般的な発達の促しや、身辺自立の基礎的な力を育むため、巧技台を用いて身体の動かし方を学ぶことができるようにする。さらに、個別的な関わりと集団での活動を一人ひとりの特性に合わせて組み合わせて活用することにより、より適切な発達に繋げることができるようにする。 | | | |

事業所名　GKM147　グローバルキッズパーク市原五井店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　4　月　1　日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし | |
| | 支　援　内　容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入室時の荷物の片付けや手洗いうがい、トイレの自立など一人ひとりの成長に合わせて自分の身のまわりの事を自分で行うことができるように手助けを行う） | | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（巧技台などの大型遊具を活用することで、身体を動かしながら様々な感覚を感じる機会を持つことができるよう、またそれによる身体のイメージを育むことができるよう支援を行う） | | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（一人ひとりの子どもの理解の仕方に合わせ、写真や絵カード、または文字やことばを活用しながら伝える工夫を行う。また自分で選択する機会を作ることで、自分の行動を考えることができるような促しを行う） | | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（ことばの発達の状況を確認しながら写真や絵カードなどの伝え方を工夫する中で、発語を促し、ことばを介した他者とのやり取りが出来るよう促しを行っていく） | | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（スタッフと1対1の個別療育を通して、人との関係性を育むことやまたやり取りの中で約束事を守ることができるような関わりを培っていく） | | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする | |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う | |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台を用いて積極的に身体を動かすことにより、様々な発達の基礎となる身体作りを行うとともに、他者との関わりの中でコミュニケーションの力を育むことができるように支援を行なっていく。さらに、個別的な関わりと集団での活動を一人ひとりの特性に合わせて組み合わせて活用することにより、学習や社会性の基礎を育んでいく。 | | | | |

事業所名　GKM150　グローバルキッズパーク小名浜店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　7　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　15　時　00　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入室時の荷物の片付けや手洗いうがい、トイレの自立など一人ひとりの成長に合わせて自分の身のまわりの事を自分で行うことができるように手助けを行う） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（巧技台などの大型遊具を活用することで、身体を動かしながら様々な感覚を感じる機会を持つことができるよう、またそれによる身体のイメージを育むことができるよう支援を行う） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（一人ひとりの子どもの理解の仕方に合わせ、写真や絵カード、または文字やことばを活用しながら伝える工夫を行う。また自分で選択する機会を作ることで、自分の行動を考えることができるような促しを行う） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（ことばの発達の状況を確認しながら写真や絵カードなどの伝え方を工夫する中で、発語を促し、ことばを介した他者とのやり取りが出来るよう促しを行っていく） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（スタッフと1対1の個別療育を通して、人との関係性を育むことやまたやり取りの中で約束事を守ることができるような関わりを培っていく） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 個別療育とグループ療育の両者を用いて、一人ひとりの成長や発達に応じた支援を行っていく。巧技台を用いた身体つくりを行い、また指示を聞きながら行動することでの認知機能を育んだり、お友達と一緒に活動する事でのコミュニケーション能力を培ったりなどへも関わっていく。さらに、デジリハ（Digital Interactive Rehabilitation System）も活用する中で、子どもの興味関心を引き出すことや自分の取組みが形になるといった成功体験に繋げられるような支援を行う。 | | | |

事業所名　GKM151　グローバルキッズパーク今市店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　4　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　14　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入室時の荷物の片付けや手洗いうがい、トイレの自立など一人ひとりの成長に合わせて自分の身のまわりの事を自分で行うことができるように手助けを行う） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（巧技台などの大型遊具を活用することで、身体を動かしながら様々な感覚を感じる機会を持つことができるよう、またそれによる身体のイメージを育むことができるよう支援を行う） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（一人ひとりの子どもの理解の仕方に合わせ、写真や絵カード、または文字やことばを活用しながら伝える工夫を行う。また自分で選択する機会を作ることで、自分の行動を考えることができるような促しを行う） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（ことばの発達の状況を確認しながら写真や絵カードなどの伝え方を工夫する中で、発語を促し、ことばを介した他者とのやり取りが出来るよう促しを行っていく） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（スタッフと1対1の個別療育を通して、人との関係性を育むことやまたやり取りの中で約束事を守ることができるような関わりを培っていく） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 自分自身の体験経験が形になったり音になったり、また絵になったりするKitsを導入し、想像力を育むことや認知機能の発達の促しを行うことが出来るように支援している。さらに、技台を行い積極的に身体を動かすことにより、様々な発達の基礎となる身体作りを行うとともに、他者との関わりの中でコミュニケーションの力を育むことができるように支援を行なっていく。プログラムにおいては個別的な関わりと集団での活動を一人ひとりの特性に合わせて組み合わせて活用することにより、学習や社会性の基礎を育んでいく。 | | | |

事業所名　GKM152　グローバルキッズパーク郡山静町店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　8　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　9　時　00　分から　18　時　00　分まで<br>休日　9　時　00　分から　18　時　00　分まで | 送迎実施の有無 | （あり）　なし | |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援　健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入室時の荷物の片付けや手洗いうがい、トイレの自立など一人ひとりの成長に合わせて自分の身のまわりの事を自分で行うことができるように手助けを行う） | | | |
| 本人支援　運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（巧技台などの大型遊具を活用することで、身体を動かしながら様々な感覚を感じる機会を持つことができるよう、またそれによる身体のイメージを育むことができるよう支援を行う） | | | |
| 本人支援　認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（一人ひとりの子どもの理解の仕方に合わせ、写真や絵カード、または文字やことばを活用しながら伝える工夫を行う。また自分で選択する機会を作ることで、自分の行動を考えることができるような促しを行う） | | | |
| 本人支援　言語コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（ことばの発達の状況を確認しながら写真や絵カードなどの伝え方を工夫する中で、発語を促し、ことばを介した他者とのやり取りが出来るよう促しを行っていく） | | | |
| 本人支援　人間関係社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（スタッフと1対1の個別療育を通して、人との関係性を育むことやまたやり取りの中で約束事を守ることができるような関わりを培っていく） | | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする | |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う | |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 子ども一人ひとりの特性に合わせた支援を行うため、個別療育で発達の促しを行い、さらにその力を集団能力で活かすことができるような関わりを行う。学ぶ力や物事を自分で行うための力を育むため巧技台などの遊具を用いて、子どもの身体作りを行う。さらに、デジタル教材キッツを活用しながら、学ぶことの楽しみを感じる事が出来るような支援を行うとともに、そこで培った力を活かしながら想像することの楽しみなどを生み出すことができるよう支援を行う。 | | | |

事業所名　GKM158　グローバルキッズパーク境町店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　9　月　26　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　9　時　00　分から　18　時　00　分まで<br>休日　9　時　00　分から　18　時　00　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入室時の荷物の片付けや手洗いうがい、トイレの自立など一人ひとりの成長に合わせて自分の身のまわりの事を自分で行うことができるように手助けを行う） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（巧技台などの大型遊具を活用することで、身体を動かしながら様々な感覚を感じる機会を持つことができるよう、またそれによる身体のイメージを育むことができるよう支援を行う） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（一人ひとりの子どもの理解の仕方に合わせ、写真や絵カード、または文字やことばを活用しながら伝える工夫を行う。また自分で選択する機会を作ることで、自分の行動を考えることができるような促しを行う） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（ことばの発達の状況を確認しながら写真や絵カードなどの伝え方を工夫する中で、発語を促し、ことばを介した他者とのやり取りが出来るよう促しを行っていく） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（スタッフと1対1の個別療育を通して、人との関係性を育むことやまたやり取りの中で約束事を守ることができるような関わりを培っていく） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 身体つくりの基礎を育んだり、人とのコミュニケーションを育む力を身につけるため、ダンスやヨガ、ピラティスなどを取り入れる。楽しく身体を動かす中で、ことばや学びの基礎となる自分自身の身体を培っていく中で、さらにそれが学びにつなげることが出来たり他者とのやり取りの力を身につけることが出来るような手助けになったりするよう支援を行っていく。 | | | |

事業所名　GKM159　グローバルキッズパーク東岩槻店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　11　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　9　時　00　分から　18　時　00　分まで<br>休日　9　時　00　分から　18　時　00　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入室時の荷物の片付けや手洗いうがい、トイレの自立など一人ひとりの成長に合わせて自分の身のまわりの事を自分で行うことができるように手助けを行う） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（巧技台などの大型遊具を活用することで、身体を動かしながら様々な感覚を感じる機会を持つことができるよう、またそれによる身体のイメージを育むことができるよう支援を行う） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（一人ひとりの子どもの理解の仕方に合わせ、写真や絵カード、または文字やことばを活用しながら伝える工夫を行う。また自分で選択する機会を作ることで、自分の行動を考えることができるような促しを行う） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（ことばの発達の状況を確認しながら写真や絵カードなどの伝え方を工夫する中で、発語を促し、ことばを介した他者とのやり取りが出来るよう促しを行っていく） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（スタッフと1対1の個別療育を通して、人との関係性を育むことやまたやり取りの中で約束事を守ることができるような関わりを培っていく） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 巧技台やリトミックなどを取り入れ、楽しみながら身体つくりを行うことによって、お子様の身辺自立をうながし、また、将来の学びにつなげるための学習習慣を培う。お子様の特性に合わせて、スタッフと1対1で行う個別療育で基礎的な力を育みながら、集団療育へも参加を促していくことによって将来の就学準備へも繋げていく。さらに、スタッフを通じたお友達とのコミュニケーションの育みも行うことによって、他者とのやり取りの力の獲得への支援を行っていく。 | | | |

事業所名　GKM160　グローバルキッズパークつくばみどり野店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　9　月　26　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　9　時　00　分から　18　時　00　分まで<br>休日　9　時　00　分から　18　時　00　分まで | 送迎実施の有無 | （あり）　なし | |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入室時の荷物の片付けや手洗いうがい、トイレの自立など一人ひとりの成長に合わせて自分の身のまわりの事を自分で行うことができるように手助けを行う） | | | |
| 本人支援 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（巧技台などの大型遊具を活用することで、身体を動かしながら様々な感覚を感じる機会を持つことができるよう、またそれによる身体のイメージを育むことができるよう支援を行う） | | | |
| 本人支援 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（一人ひとりの子どもの理解の仕方に合わせ、写真や絵カード、または文字やことばを活用しながら伝える工夫を行う。また自分で選択する機会を作ることで、自分の行動を考えることができるような促しを行う） | | | |
| 本人支援 言語コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（ことばの発達の状況を確認しながら写真や絵カードなどの伝え方を工夫する中で、発語を促し、ことばを介した他者とのやり取りが出来るよう促しを行っていく） | | | |
| 本人支援 人間関係社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（スタッフと1対1の個別療育を通して、人との関係性を育むことやまたやり取りの中で約束事を守ることができるような関わりを培っていく） | | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする | |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う | |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 学ぶことや身体を育むことに繋げることが出来るように巧技台を取り入れることによって、積極的に身体を動かす機会を作る。また、学習面に関しても個別療育の中で１対１での関わりを通して学び方を見つけることを支援するとともに、個別で身につけた学びの力を通して学研もじかずランド等を用いた集団での学習に繋げることができるよう促しを行う。また、学ぶことへの抵抗が少しでも小さくなるよう、iPadを用いたタブレット学習を通して、遊びながら学ぶことが出来る工夫を行う。 | | | |

事業所名　GKM164　グローバルキッズパーク太田店

# 支援プログラム

作成日　R7　年　4　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　14　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入室時の荷物の片付けや手洗いうがい、トイレの自立など一人ひとりの成長に合わせて自分の身のまわりの事を自分で行うことができるように手助けを行う） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（巧技台などの大型遊具を活用することで、身体を動かしながら様々な感覚を感じる機会を持つことができるよう、またそれによる身体のイメージを育むことができるよう支援を行う） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（一人ひとりの子どもの理解の仕方に合わせ、写真や絵カード、または文字やことばを活用しながら伝える工夫を行う。また自分で選択する機会を作ることで、自分の行動を考えることができるような促しを行う） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（ことばの発達の状況を確認しながら写真や絵カードなどの伝え方を工夫する中で、発語を促し、ことばを介した他者とのやり取りが出来るよう促しを行っていく） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（スタッフと1対1の個別療育を通して、人との関係性を育むことやまたやり取りの中で約束事を守ることができるような関わりを培っていく） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | お子さん一人ひとりの成長に合わせて個別療育で培った力を就学に向けた集団療育に活かすことが出来るようにしていく。子どもの学ぶ力を培うための身体つくりとして、大型トランポリンを導入し、楽しみながら運動を行うことが出来るようにする。また、Kits アートポンを活動の中に取り入れることによって、遊びながら学ぶことや創造したことが形となって表現できる楽しみを味わうことが出来るよう支援を行っていく。 | | | |

事業所名　GKM166　グローバルキッズパーク郡山静西店

# 支援プログラム

作成日　R8　年　2　月　1　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　14　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入室時の荷物の片付けや手洗いうがい、トイレの自立など一人ひとりの成長に合わせて自分の身のまわりの事を自分で行うことができるように手助けを行う） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（巧技台などの大型遊具を活用することで、身体を動かしながら様々な感覚を感じる機会を持つことができるよう、またそれによる身体のイメージを育むことができるよう支援を行う） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（一人ひとりの子どもの理解の仕方に合わせ、写真や絵カード、または文字やことばを活用しながら伝える工夫を行う。また自分で選択する機会を作ることで、自分の行動を考えることができるような促しを行う） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（ことばの発達の状況を確認しながら写真や絵カードなどの伝え方を工夫する中で、発語を促し、ことばを介した他者とのやり取りが出来るよう促しを行っていく） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（スタッフと1対1の個別療育を通して、人との関係性を育むことやまたやり取りの中で約束事を守ることができるような関わりを培っていく） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | デジリハ（Digital Interactive Rehabilitation System）を導入し、遊びながら子どもの学ぶ力を引き出すことが出来るよう支援を行っていく。また、お子様一人ひとりの発達の様子を確認しながら、個別療育で苦手なところを丁寧に伸ばせるよう支援を行うと同時に、そこで培った力を将来の就学に繋げられるよう集団療育において発揮できるような手助けも行っていく。 | | | |

事業所名　GKM168　グローバルキッズパーク南船橋店

# 支援プログラム

作成日　R8　年　2　月　26　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　15　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　13　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入室時の荷物の片付けや手洗いうがい、トイレの自立など一人ひとりの成長に合わせて自分の身のまわりの事を自分で行うことができるように手助けを行う） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（巧技台などの大型遊具を活用することで、身体を動かしながら様々な感覚を感じる機会を持つことができるよう、またそれによる身体のイメージを育むことができるよう支援を行う） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（一人ひとりの子どもの理解の仕方に合わせ、写真や絵カード、または文字やことばを活用しながら伝える工夫を行う。また自分で選択する機会を作ることで、自分の行動を考えることができるような促しを行う） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（ことばの発達の状況を確認しながら写真や絵カードなどの伝え方を工夫する中で、発語を促し、ことばを介した他者とのやり取りが出来るよう促しを行っていく） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（スタッフと1対1の個別療育を通して、人との関係性を育むことやまたやり取りの中で約束事を守ることができるような関わりを培っていく） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・ハロウィーン　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 学ぶこと、身の回りの事を自分で行うこと、などの基礎となる身体の動かし方の練習を行うことを手助けするため、巧技台を活用したり、様々な運動プログラムを用いたりしながら支援を行う。ICT（Information and Communication Technology：情報通信技術）教材である「ここのび」を活用し、視覚や聴覚からの情報を取り入れる中で楽しみながら学ぶこと、面白さを感じて繰り返し学ぶことへ繋げられるような力を育んでいく。 | | | |

事業所名　GKM172　グローバルキッズパーク守谷店

# 支援プログラム

作成日　R8　年　2　月　25　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　9　時　00　分から　18　時　00　分まで<br>休日　9　時　00　分から　18　時　00　分まで | | 送迎実施の有無 | あり　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする<br>（入室時の荷物の片付けや手洗いうがい、トイレの自立など一人ひとりの成長に合わせて自分の身のまわりの事を自分で行うことができるように手助けを行う） | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する<br>（巧技台などの大型遊具を活用することで、身体を動かしながら様々な感覚を感じる機会を持つことができるよう、またそれによる身体のイメージを育むことができるよう支援を行う） | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う<br>（一人ひとりの子どもの理解の仕方に合わせ、写真や絵カード、または文字やことばを活用しながら伝える工夫を行う。また自分で選択する機会を作ることで、自分の行動を考えることができるような促しを行う） | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う<br>（ことばの発達の状況を確認しながら写真や絵カードなどの伝え方を工夫する中で、発語を促し、ことばを介した他者とのやり取りが出来るよう促しを行っていく） | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する<br>（スタッフと1対1の個別療育を通して、人との関係性を育むことやまたやり取りの中で約束事を守ることができるような関わりを培っていく） | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・ハロウィーン　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | お子様の一人ひとりの特性に合わせて、個別療育を通してスタッフとの1対1のやり取りの中で、出来ることを少しずつ増やすことができるように支援を行う。さらに、個別療育を通して培った力を集団の中でも発揮することができるようにグループ療育も活用した支援を行う。また、運動面への関わりを通して身体つくりを行いながら、日常生活面への自立へ向けた支援に繋げられるような関わりを行う。 | | | |

事業所名　グローバルキッズメソッド173(八千代村上店)

# 支援プログラム

作成日　R8 年 3 月 12 日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日 10 時 00 分から 16 時 30 分まで<br>休日 10 時 00 分から 16 時 30 分まで | | 送迎実施の有無 | （あり） なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・ハロウィーン　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | |
| 事業所の特性 | | 自分の身のまわりの事を自分で出来るようになるため、また学びにつなげるための基礎を育むための身体つくりを行うために積極的に身体を動かす運動プログラムを取り入れる。さらに、ICT教材の「ここのび」を取り入れた活動を提案することにより、子どもたちの自ら学ぶことを楽しむための要素を培っていく。子どもの成長に合わせて個別療育取集団療育を組み合わせて用いることによって、将来の就学に向けたスキル獲得を促していく。 | | |

事業所名　GKM175　グローバルキッズメソッド流山店

# 支援プログラム

作成日　R8　年　2　月　10　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで<br>休日　10　時　00　分から　16　時　30　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るよう認知機能の発達を促す<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択につなげられるよう本児の理解に沿った促しを行う | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るような促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような声掛けの仕方によって、コミュニケーションの方法への支援を行う<br>・自分のことばを相手に伝える機会や相手のことばを受け取る機会を通して、人とのやり取りの促しを行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との一対一との関わりの中で他者との関わり方への促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身を知る機会を提供する | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・就園や就学にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・ハロウィーン　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 子どもの学びの力やことばの発達の土台になる身体つくりを促すため、巧技台を取り入れて積極的に身体を動かす活動を行う。また、子どもの感性を促すためのICT教材アートポンを導入し、楽しみながら学ぶことにつなげていく。子ども一人ひとりの発達に合わせ、個別療育できめ細かな支援を行うとともに、集団療育も活用することによって就学に向けた準備を行っていく。 | | | |

事業所名　GKM179　グローバルキッズメソッド渋川店

# 支援プログラム

作成日　R8　年　7　月　29　日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ・安心・安全に過ごすことが出来る場所を提供する<br>・こどもが楽しく過ごすことが出来る場を提供する<br>・子どもを褒めることによって子どもの力を伸ばす | | | |
| 支援方針 | ・遊びを通して様々な学びにつなげる<br>・自分の実際の体験を通して自ら学ぶことが出来る力を育む | | | |
| 営業時間 | 平日　10　時　00　分から　19　時　00　分まで<br>休日　9　時　00　分から　18　時　00　分まで | | 送迎実施の有無 | （あり）　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・安心・安全に過ごすことが出来るように子どもの過ごす環境を整える<br>・自分の身の周りのことを自分自身で出来るように基本的生活習慣を身につけるお手伝いをする | | |
| | 運動・感覚 | ・日常生活を営むために必要な姿勢の獲得や粗大・微細運動機能の獲得を図ることが出来るようなからだを動かす機会を提供する<br>・個々の有する感覚（視覚・聴覚・触覚など）を活用することによって、生活に必要な運動機能の向上を図ることが出来るような活動の機会を提供する<br>・個々の感覚の特性（過敏や鈍麻などの感覚の偏り）へ配慮し、本人自身が自分の感覚の特性と向き合えるよう配慮する | | |
| | 認知・行動 | ・自分の身の回りの物事（情報）を正しく理解することが出来るような機会や関わりへの支援を行う<br>・受け取った情報を整理し、その場に必要な行動を選択することが出来るような機会を提供する<br>・自身の認知の特性を理解することが出来るように自己理解を促す | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・ことばや身振りなどを通して、自分の表現したい事を伝えることが出来るよう促しを行う<br>・その場に必要な表現方法を身につけることが出来るような機会の提供を行う<br>・自分自身の考えを伝えることや、相手の意見を聞くことで、人との相互作用によるコミュニケーションを身につける支援を行う | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・スタッフやお友達との関わりの中で他者との関係の育み方を身につけることが出来るよう促しを行う<br>・自分自身の得意なことや苦手なことを理解することによって、自分自身をコントロールする力を身につけることが出来るような機会を提供する<br>・事業所内外の活動を含めた様々な活動への参加を促すことによって、参加する方法を身につけることができるよう支援を行う | | |
| 家族支援 | ・保護者の方の困り感に寄り添い、いつでも相談を受ける体制を整える<br>・お子さんに必要な支援について、保護者と一対一の対話を大切にする<br>・また、きょうだい児を含めた家族支援を心掛ける | | 移行支援 | ・中学校や高校への進学、また就労にスムーズに移行できるよう、保護者の方と相談しながら、保護者の方へ移行先の情報提供を行ったり、移行先へ必要な配慮などの支援について説明したりする |
| 地域支援・地域連携 | ・地域の資源に関する情報を収集し、必要に応じてご家族へ提供する<br>・児童の特性に応じて、必要な地域資源を活用する | | 職員の質の向上 | ・全体に向けて、毎月動画やzoomを活用しながら研修を行う<br>・専門的支援を行う従業員に向けて、療育に関する研修を行う<br>・管理者を対象に、人的・物的管理に関する研修を行う |
| 主な行事等 | ・初詣　・豆まき　・ひな祭り　・こどもの日　・七夕　・夏祭り　・紅葉狩り　・ハロウィーン　・クリスマス<br>・避難訓練　など | | | |
| 事業所の特性 | 学習の習慣を身につける事が出来るよう“すらら”を活用し、自分で学習することの苦手意識を軽減できるように手助けする。さらに、マインクラフトを取り入れることによって、プログラミングの力を育みながら、想像力を育むことやお友達と協力しながら問題解決を図っていく力を身につける事が出来るよう支援を行う。 | | | |